（２２）　らっきょう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 乾腐病 *Fusarium oxysporum* f. sp. *allii* *F. solani* f. sp. *radicicola*	1. 無病地を選ぶ。 2. 発病株（収穫物を含む）は、土中深く埋める。 3. つり小屋の通風をよくする。 4. 種球に傷を付けないようにする。	植付直前（種球浸漬）	1	ベンレート水和剤
			3	トリフミン水和剤
			11	ストロビーフロアブル
		植付前（種球浸漬）	M3･1	（混）ベンレートＴ水和剤２０
		発病初期	1	トップジンＭ水和剤
2 根腐病 *Pyrenochaeta* sp.	1. 無病地を使用する。 2. 連作を避ける。 3. 耕うん作業等で、病土を無病圃に持ち込まない。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. 土壌消毒方法はⅢ－１４．土壌病害虫の防除の項参照。	土壌消毒	－	ガスタード微粒剤
			－	バスアミド微粒剤
3 白色疫病 *Phytophthora porri*	1. 発生圃場での育苗を避ける。 2. 発生圃場での連作を避ける。 3. 排水をよくする。	発病初期	21	ランマンフロアブル
			29	フロンサイド水和剤
			4･M5	（混）フォリオゴールド
			27･11	(混)ホライズンドライフロアブル
			27･40	(混)ベトファイター顆粒水和剤
			27･M3	（混）カーゼートＰＺ水和剤
			40･M5	（混）プロポーズ顆粒水和剤
4 灰色かび病 *Botrytis cinerea* *B. squamosa*	1. 収穫残さは埋める。	発病初期	2	ロブラール水和剤
			7	カンタスドライフロアブル
			12	セイビアーフロアブル２０
			M5	ダコニール１０００
			M7	ベルクートフロアブル
5 さび病 *Puccinia allii*	1. 草勢を良好に保ち、肥料不足や窒素過多を避ける。 2. 罹病株は抜き取り、処分する。	発病初期	3	ラリー水和剤
			11	アミスター２０フロアブル
6 軟腐病 *Pectobacterium carotovorum*	1. 排水をよくして過湿を避ける。 2. 地下水位の高い圃場では高うね栽培を行う。 3. 窒素過多にしない。 4. 発病株は圃場外に持ち出し、処分する。	発病初期	31	スターナ水和剤
7 アブラムシ類（モザイク病）	1. 無病株を使用する。	発生初期	1B	ジメトエート乳剤
8 ネギアザミウマ	1. 飛び込み軽減のため、防虫ネット（１mm目合以下）で被覆する。 2. 畦畔雑草を処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. ビリーブ水和剤はネギハモグリバエにも登録がある。	発生初期	1B	スミチオン乳剤
			3A	アグロスリン乳剤
			4A	モスピラン顆粒水溶剤
			4A	アルバリン顆粒水溶剤
			4A	スタークル顆粒水溶剤
			5	スピノエース顆粒水和剤
			5	ディアナＳＣ
			3A･15	（混）ビリーブ水和剤
9 ネダニ	1. 発生していない種球を使う。 2. 温湯消毒（47℃、10分間）する。 3. 酸性土壌を矯正する。 4. 排水をよくする。 5. りん片が堆肥にふれないようにする。	植付前	1B	ネマトリンエース粒剤
		定植時	1B	トクチオン細粒剤Ｆ
			1B	ジメトエート粒剤
		発生初期	1B	ジメトエート粒剤
			4A	ダントツ粒剤